

ASA
大田中央

ASA
東大井

Presents
2008.2月

ASAスタッフは町歩き達人でもある。
朝日新聞販売店発の近所散歩ミニコミ

歩く目的

No. 10

(毎月25日発行)

1



①いざ、水族館へ
トンネルのような
アーチをくぐり抜
ける。あのゲート
の向こうに今回の
“水中世界の散歩道”
がある。

2



サカナストーリー
円柱の水槽では、群をなす魚が円を描いて
泳ぎ続ける。目が回りそうな勢いのマイワ
シの大群に、カップルの視線も釘付け。

3

水槽の中では
紅色のシキシマハナダイが、岩の間を
せわしなく泳ぎ回る。じっと観察して
いると、一匹一匹に違う表情があるよ
うに思えてくるから不思議だ。

4



④イルカと追いかけてこ
イルカショーの開始を告げる館
内アナウンスが聞こえてきた。
急いでイルカ・アシカスタジア
ムへ。巨大プールの前で、目と鼻
の先に現れるイルカたちを、子
ども達が夢中で追いかける。

しながわ水族館 水族館で 水中散歩

まだまだ寒い日が続くこの時期。
今回の“歩く目的”は、天候に左右されない
青き水の世界を歩くこと。約1万匹の水生生
物が暮らす「しながわ水族館」へ。

おお~!!

5

見よ!この華麗なジャンプ
まずはイルカたちが独特の可愛い声でマイクパフ
ォーマンス。そしてボールキャッチや連続ジャンプな
どの大技を、客席に水しぶきが届くほどの近さで熱演!

7

こんな場面に出くわすことも…
アザラシ館ではゴマフアザラシ
がお食事の最中。ゆっくり食べる
のめいれば、他のアザラシをおしのけるのめいたり。
三者三様の個性がわかると、より可愛く見える。

6

人気者のペンギンたち
携帯電話で写真を撮る
お客さんにも動じず、じ
っと貫禄のポーズ。



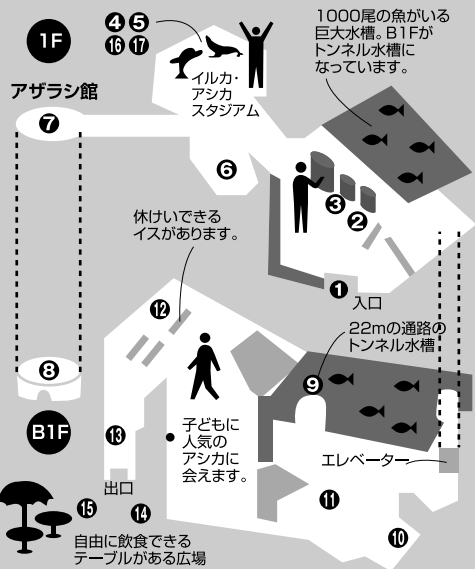
「アザラシフィーディングタイム」(アザラシ館2階)
平日11時半/16時、土日祝11時15分/15時15分

■しながわ水族館
品川区勝島3-2-1
(しながわ区民公園内)
営/10時~17時(入館16時半)
火曜休 周(3762)3433
入館料/大人1,300円 小・中学生600円
幼児(4才以上)300円※3才以下無料
交通:京急線「大森海岸」駅より徒歩約8分
/JR京浜東北線「大井町」駅中央改札東口6番
乗り場より無料送迎バス約15分

8

日本初!

アザラシ館の1階には、日本初のアザラシのトンネル水槽があった。アザラシが頭上や肩越しに、優雅にすり抜けていく不思議な空間。



9

頭上いっぱい魚が舞う

エレベーターで地下へ降りると、そこは巨大トンネル水槽だった。まるで空を飛ぶようにして1000尾の魚が上に横に泳ぎ回る。海の中を散歩しているような気分で、いつまで眺めていても飽きない。

11

魚たちも

水槽に給餌する場面にも遭遇。毎週土曜には餌作りの現場などが見られるイベントがある。

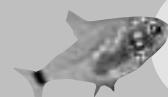
10



まさに竜宮城 トンネルを出ると、深海魚や音を出す魚など、ユニークな海の生物が待ち受ける。中でも珊瑚の間から色とりどりの熱帯魚が泳ぐ「海の宝箱」という美しい水槽はひと際目を引いた。

こんな面々も

図鑑でしか見たことがなかった珍しい生き物たちが目の前に。



全長2センチ程の赤ちゃんピラニア

“生きた化石”と呼ばれるおうむ貝



アマゾンに生息する世界最大級の淡水魚ピラルク。

14



水族館で味わう海の幸

外に出て、レストランやお店が並ぶ広場へ。館内には1日何度も再入場出来るのだ。「レストランドルフィン」で注文した品川井(980円)は穴子、あさり、しゃこ天と海の幸盛り沢山の欲張りどんぶり。

16



アシカショースタート!

器用にフラフープ

逆立ちしながらハイ、ポーズ

ふたたびスタジアムへ

1日1回のアシカショーも見逃さない。トレーナーと息ピッタリの3匹のアシカがかわいい!

海の仲間をおみやげに「マリショップ」で、人気者のイルカのぬいぐるみを見発見。しながわ水族館オリジナルぬいぐるみ、いるかくん(850円)

15



しながわ水族館ストラップ アザラシ(650円)

12 心落ち着く青の空間

真っ暗な中、映画のスクリーンのように青く浮かび上がる「イルカの窓」。時折近くにやってくるイルカを待ちながらひと休み。

13 迫力!!

「シャークホール」には今にも襲いかかってきそうな大きなサメ。ガラス越しでも思わずヒヤリ。



17 最後はアシカに見送られ...

ショーの最後はアシカとトレーナーさんが“バイバイ”とお見送り。“しながわ”の住人たちに後ろ髪を引かれつつ水族館を出ると、いつの間にか辺りは夕暮れ。町の中とはまったく違った今回の水中散歩。季節問わず楽しめる、水族館散歩は今後も定番になりそうだ。



※次回は、「大森のり土産探し」を予定。

専用バインダー付

バックナンバー差し上げます。ASA大田中央・ASA東大井までご連絡下さい。

- 創刊号「内川の終点まで歩く」
- 第2号「近所で迷う」
- 第3号「休日のプリマヘ」
- 第4号「青物横丁の鯉」
- 第5号「気になる店に入ってみる」
- 第6号「白田坂漫遊」
- 第7号「駅前だって散歩道」
- 第8号「運河までひと歩き」
- 第9号「地上のお山にのぼる」